

1 【今年度の取組目標・方策】についての自己評価

(1) 学習指導

- ① 生徒の学習状況を正確に把握し、授業形態、教材・教具の工夫により、分かりやすい授業の実践に取り組んだ。対話的で深い学びを積極的に取り入れる教科も見られた。
- ② 1・2学年において、観点別評価に基づく指導と評価の一体化を進めた。
- ③ どの授業でもICT機器等を効果的に活用した授業を推進した。双方向の取組は今後の課題として残った。オンライン授業に取り組む必要は生じなかった。
- ④ 授業規律はほぼ守られており、落ち着いた授業環境が確保されていたが、一部課題が残った。
- ⑤ 進級・卒業規定に基づき、学習・生活指導を行ったが、追指導人数が一定数生じるという課題が残った。
- ⑥ SC・YSWを活用し、心身への不安や発達障害等への適切な対応により、個の伸長を目指した。
- ⑦ 各種検定や資格の取得を奨励したが、大きな進展は見られなかった。
- ⑧ 生徒会活動や授業を通して主権者教育を推進した。

(2) 生徒指導

- ① HRや学年集会等の機会を活用して授業規律や社会生活のルール等の規範意識の向上に努めた結果、大きな事故につながる事象は生じなかった。個別の対応が引き続き必要な状況である。
- ② 校内外の巡回指導を通して喫煙に対する指導強化を図り、昨年度より指導件数がやや減少した。
- ③ 全日制との連絡・調整を適切に行った結果、全定両課程のトラブルは生じなかった。
- ④ SC・YSW等を活用した相談活動の充実を図った。
- ⑤ 生徒の様子や変化に敏感に対応し、家庭との連携を密に取りながら、事故の未然防止に努めた。
- ⑥ 発達障害に関する研修会を開催した。知識・理解を全員で深め個別案件への対応を行うことができた。
- ⑦ いじめ・体罰を許さないという認識を共有できた。「SNS」に関する特別指導件数は0であった。
- ⑧ 二者面談、三者面談を実施し、生徒の状況把握に努めることができた。

(3) 進路指導

- ① 日常的に進路相談が生じた。その都度、生徒の状況にあった進路相談に努めた。
- ② 進路指導の充実を図り、4年生の就職希望者11名の進路を決定することができたが、課題が残った。
- ③ 自立支援チーム継続派遣校として就労支援を充実させ、上記②の成果に繋げることができた。
- ④ 三修制希望者2名の三卒（三年間での卒業）を実現することができた。
- ⑤ 将来を見据えた進路選択につなげる指導を行ったが、進路決定率は昨年度とほぼ横ばいであった。

(4) 特別活動(部活動・学校行事)

- ① 「校友会」活動を支援して、生徒の学校行事や文化祭、スポーツ大会、弁論大会などの各行事が生徒の手で作り上げられるように指導した。特に球技大会は充実が図られた。
- ②
- ③ 部活動や学校行事の内容が充実するよう指導し学校への帰属意識を高めようとしたが、部活動への参加数が減少し、改善が求められる状況となった。
- ④ 外部会場での学校説明会等へ本校生徒が参加するなど、ボランティア活動の実現が図られた。
- ⑤ 給食指導を通して食育の充実を図った。安易な不受給を減らすよう指導し、やや喫食率が向上した。

⑥ 体力向上に取り組み、心身の健康のバランスが保たれるよう指導した。

(5) 広報・募集対策

- ① 外部会場での学校説明会や本校での学校説明会を通して、「落ち着いた少人数授業」「きちんとした生活指導」「三修の実施」等の本校の特色をPRすることができた。説明会参加者も増加した。
- ② 学校説明会、学校見学会等の充実は図られたが、一次の応募倍率はやや減少した。
- ③ ホームページの内容充実と更新に努めた。更新数は向上した。
- ④ 夏休みを利用して、教員が中学校を訪問し、夜間定時制課程の広報が実施することができた。
- ⑤ 今年度も、立川市立中学校の進路指導主任会に管理職が参加し、本校定時制のPRを行うことができた。

(6) 学校運営・組織体制

- ① 全・定の教職員が協力して校内運営及び生徒指導に当たることができた。
- ② 経営企画室と連携し、円滑な学校運営や予算執行を達成した。経営参画については顕著な成果は見られなかった。
- ③ 施設管理、備品管理、学事、環境整備、広報などについて適切な業務の進行管理が図られた。
- ④ 全定の管理職・企画室長で毎日打合せを行い、また管理職と教員とで自由意見を交わす等、風通しの良い職場環境に努めた。
- ⑤ 日々の点検を徹底し、防災・防犯や施設の安全体制を整備した。事故0を継続できた。
- ⑥ 施設・設備の活用状況を調査することはできなかった。
- ⑦ ライフワークバランスを意識させ、残業時間の縮減に努めた。超過勤務の課題は生じなかった。

2 【重点目標・数値目標】の達成状況

(1) 進級・卒業に関すること

- 1年生の進級率 75%以上
(H31:83.3 R2:100 R3:95.1 R4: 84.8 R5: 90.9) 達成
- 3修制での卒業実現率 100%
(H31:100 R2:71.4 R3:71.4 R4:100 R5: 66.7) 未達成
- 4年生の卒業率 100%
(H31:98.1 R2:97.4 R3:95.2 R4:100 R5: 91.4) 未達成

(2) 学校生活に関すること

- 部活動の活躍(全国大会出場・都大会優勝等・作品展等の入賞) 5個以上
(H31:12 R2:5 R3:7 R4: 2 R5: 3) 未達成
- 予約者に対する給食の喫食率 75%以上
(H31:72.0 R2:54.9 R3:78.0 R4:74.3 R5: 80.2) 達成

(3) 進路決定に関すること

- 上級学校進学希望者及び就職希望者の進路決定率 100%
(H31:88.4 R2:62.1 R3:57.1 R4:90.3 R5: 81.0) 未達成
- 卒業生全体の進路決定率 65%以上
(H31:66.1 R2:51.9 R3:60.0 R4:57.1 R5: 61.8) 未達成

(4) 広報・入学選抜に関すること

○ 学校説明会および個別相談会の参加数 120名以上

(H31:167 R2:58 R3:59 R4:73 R5:102) 未達成

○ 入試応募倍率 1次募集 1.0倍以上 2次募集 実施しない

1次募集 (H31:0.55 R2:0.51 R3:0.33 R4:0.42 R5:0.30) 未達成

2次募集 (H31:0.29 R2:0.14 R3:0.10 R4:0.26 R5:0.21) 未達成

3 【重点目標達成のための具体的方策】についての自己評価(4段階)

(1) 進級・卒業に関すること

(ア) 考査前後や長期休業日中などの補習・講習等の個別指導の充実により、生徒が集中して学べる学習環境を保障し、生徒の能力、適性等に対応した指導を行います。(B)

(イ) 年度末に補習を行うのではなく学期ごとに履修・修得を生徒に意識させ、進級率を向上させます。(C)

(ウ) 各種検定や資格取得等の単位認定を積極的に取り入れます。(D)

(2) 学校生活に関すること

(ア) 部活動の指導計画等を生徒・保護者に提示し、部活動の参加率の増加を図ります。(D)

(イ) 部活動を充実させ、学校活性化につなげるとともに、成就感・達成感を得て、学校生活が充実するよう指導します。(C)

(ウ) 食育指導を充実させ、給食の予約者に対する喫食率を向上させます。(B)

(3) 進路決定に関すること

(ア) 無職者やアルバイト勤務志望者を減らし、就職者・進学者を一人でも多く進路実現させます。(C)

(イ) 各教科の授業・総合・個別相談等を通して早期からのキャリア教育を行い、進路意識を向上させます。(C)

(ウ) 各種説明会や講演会の内容を精査し、生徒の状況にあった進路指導を実現します。(B)

(4) 広報・入学選抜に関すること

(ア) 必要に応じて、中学校訪問や塾訪問、さらに塾説明会への参加など積極的な学校広報に努めます。(C)

(イ) 説明会等の実施を幅広く周知するためにホームページの充実を図り、学校PRを強く推進します。(B)